

令和6年度 第1回燕市食物アレルギー対応委員会 会議録（要旨）

日 時：令和6年7月10日（水） 15時30分から16時50分まで

場 所：燕市役所 会議室301

出席委員：松野委員、伊東委員、齊藤委員（委員長）、青木委員、落合委員、高橋委員、
小嶋委員、柳原委員

事務局：教育長、教育次長、教育委員会主幹、学校教育課長、こども政策部長、こども未
来課長、ほか職員9人

議 題：（1）小・中学校における食物アレルギー対応の現状について
（2）児童クラブにおける食物アレルギー対応の現状について
（3）保育園・こども園における食物アレルギー対応の現状について
（4）その他

【以下、会議録（要旨）】 ※個人の診療、対応についての記録は省略します。

開 会

教育長挨拶

委員長挨拶

議 題

（1）小・中学校における食物アレルギー対応の現状について

《事務局》

- ① 各小・中学校における食物アレルギー対応給食の児童生徒数
令和2年度から令和6年度までの、アレルギー対応給食の児童生徒数の報告をした。
- ② エピペン®処方者の人数
令和2年度から令和6年度までの、エピペン®を処方されている児童生徒数の報告をした。
- ③ 学年別食物アレルギー対応給食児童生徒数
学年別、アレルギー別の児童生徒数を報告した。
- ④ 食物アレルギーに係る誤食等の発生について
令和6年1月1日から令和6年5月31日までの間、食物アレルギーに関連したヒヤリハット事例が1件あったことを報告した。
- ⑤ 食物アレルギー対応に係る職員研修
7月3日に開催した研修会について説明した。
- ⑥ 食物アレルギーをもつ児童生徒の保護者との情報交換会について
7月31日（水）に開催予定。入学を控えた園児の保護者を対象に加え、燕市ホームページ、給食だより等で周知していることを説明した。
- ⑦ 事例検討について
学校給食における対応を協議した。
- ⑧ 燕市立小中学校における食物アレルギー対応マニュアルの改定

「燕市立小中学校食物アレルギー対応マニュアル」の一部改訂について、主な改訂事項を説明した。

○委員（意見）

エピペン®処方者の人数については、原因食物と学校名がわかると良い。

○事務局（回答）

エピペン®処方者の原因食物について回答。今後は、2つの情報を加えた資料を作成する。

○委員（意見）

ヒヤリハット事例の当該校では、今後しっかり責任の所在を明確にし、確認されると思う。他の学校でも気を付けていただきたい。

○委員（委員長）

事例をもとに市内の学校にも対策がいかされるように周知していきたい。

○委員（意見）

食物アレルギーマニュアルの改訂の時期は、いつ頃か。また、学校への周知はいつ頃、どのような形で周知されるか併せて確認したい。

○事務局（回答）

個別のアレルギー面談が秋から順次始まるため、改訂については8月に行い、学校への周知は8月中に文書でお知らせしようと考えている。

○委員（意見）

忙しい中で、文書だけでは詳細な内容を確認できないと思うので、校長先生方にきちんと周知されるような形でご説明いただきたい。

(2) 児童クラブにおける食物アレルギー対応について

《事務局》

① 児童クラブにおける食物アレルギー対応の児童生徒数

令和2年度から令和6年度までの、アレルギー対応給食の児童数の報告をした。

② エピペン®処方者の人数

令和2年度から令和6年度までの、エピペン®を処方されている児童数の報告をした。

③ 食物アレルギーによる誤食等の発生について

令和6年1月1日から令和6年5月31日までの間、食物アレルギーに関連した誤食がなかったことを報告した。

あわせて、保護者アンケート結果を踏まえ、統一的なおやつを提供を行わず、各家庭のニーズに合わせて個別対応していることを報告した。

④ 食物アレルギー事故を防止するための対応

7月3日に開催した研修会について説明した。また、エピペン®処方者が在籍す

る施設において、エピペン®の使用方法について職場内研修を実施したことを報告した。

○委員（意見）

なし

（3）保育園・こども園における食物アレルギー対応について

《事務局》

① 各園の食物アレルギー対応給食の園児数

令和2年度から令和6年度までの、アレルギー対応をしている園児数の報告をした。

② エピペン®処方者の人数

令和2年度から令和6年度までの、エピペン®を処方されている園児数の報告をした。

③ クラス別食物アレルギー対応食園児数

クラス別のアレルギー別の園児数を報告した。

④ 食物アレルギーに係る誤食等の発生について

令和6年1月1日から令和6年5月31日までの間、食物アレルギーに関連した誤食はなかったことを報告した。

⑤ 食物アレルギー対応に係る職員研修

9月11日（水）に開催予定であることを報告した。

○委員（意見）

園児に内服薬を処方しているが、園では服薬させてもらえるのか。内服を断られたと保護者から訴えがあった。

○事務局（回答）

公立保育園等では、薬が処方されていたら必ず預かるようにしている。私立についても公立の対応を周知しているが、対応に差がある。市全体として緊急対応の精度を高めるためにもきちんと周知する。

○委員（意見）

保護者には、緊急時にはすぐに口をすすいで、薬を飲ませるよう説明している。園でもきちんと周知して対応してもらいたい。

（4）その他

なし

閉 会